

(別紙)

## 令和6年度茶業研究所研究報告会 報告概要

### ア 「茶園の樹冠下耕うんによる除草効果について」

～有機栽培茶園の手取り除草の大幅削減を目指して～

京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所

副主査 とどろき 轟 だいし 大志

茶園の除草は、茶の有機栽培で最も労働時間を要する作業で、特に作業が困難な樹冠下の除草の省力化・効率化が強く望まれています。今回、有機栽培茶園の樹冠下の耕うんによる除草の効果及び機械化の実現性を検証したので報告します。

### イ 「最新濃縮技術を用いた新しい玉露飲用方法の提案」

京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所

技師 たかがき 高垣 ゆうすけ 友祐

玉露などのリーフ茶の消費が伸び悩む中、消費喚起を図るためには、誰でもいつでも本格的な茶の香味を楽しめる手法を提案し、新たな支持層の獲得に繋げることが必要です。そこで、玉露特有の香味を損なわない濃縮技術を用いた飲用方法について提案します。